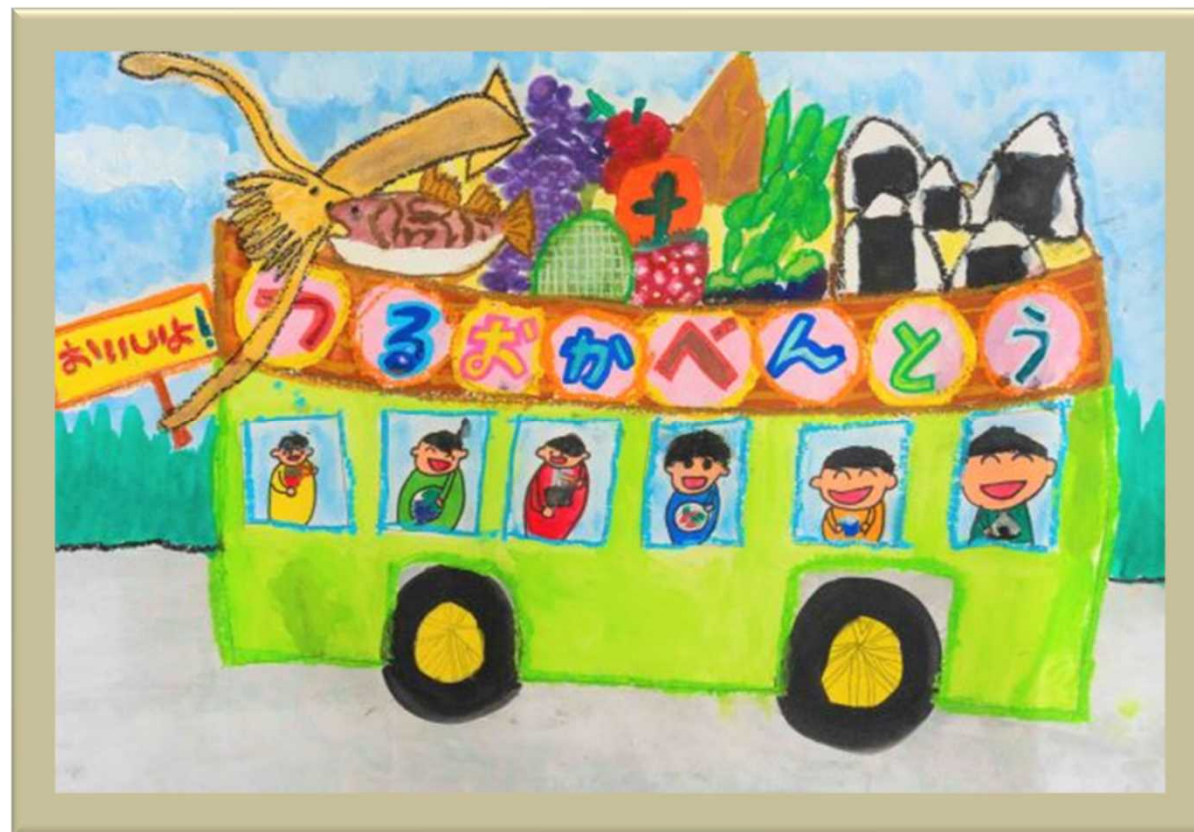


# 鶴岡市の地域公共交通の現状と 活性化の取り組み



第10回鶴岡市小学生「バスの絵」コンテスト  
鶴岡市長賞「つるおかべんとうバス」 朝陽第五小学校 3年 齋藤 直慶 さん

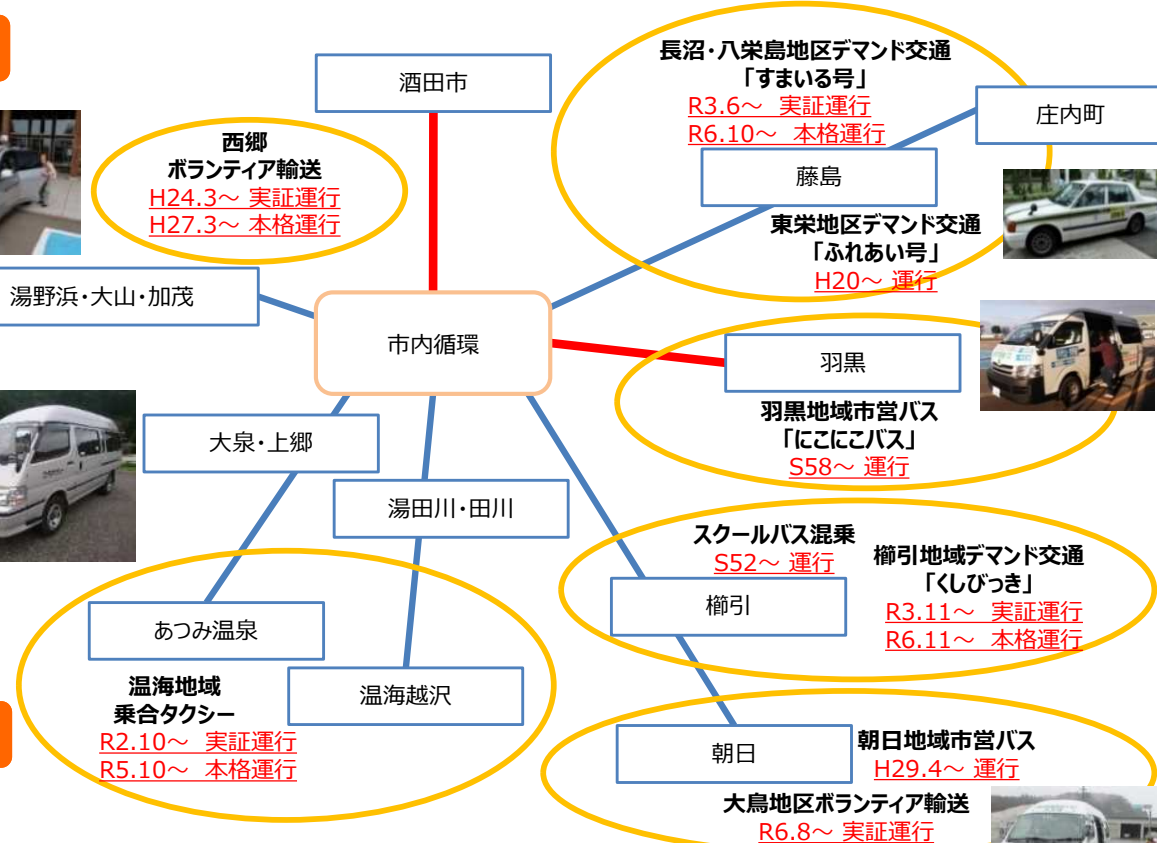
令和6年10月4日

山形県鶴岡市 企画部地域振興課

# 1. 鶴岡市地域公共交通の現状

## 公共交通の運行状況 (R6.10)

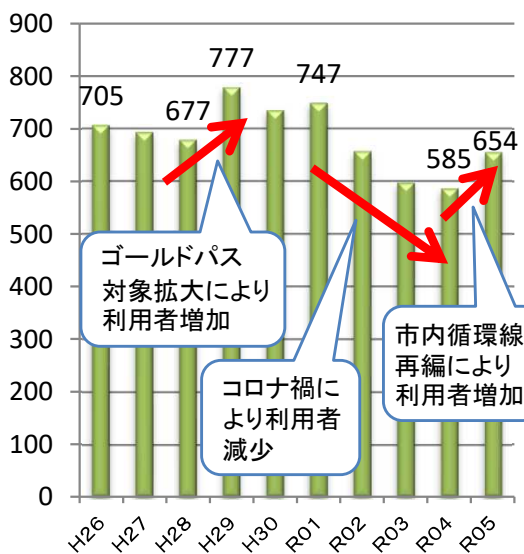
- 空路 : 庄内空港 (羽田線 5 往復/日)
- 鉄道 : JR東日本 (羽越本線 10 駅)
- 路線バス : **1 社 27 路線**
- 市営バス : **5 路線**
- タクシー : **12 事業者**
- デマンド交通 : **4 地区**
- 定時定路線型乗合タクシー : **2 路線**
- その他 : ボランティア輸送 **2 地区**  
福祉有償運送 (**3 法人 2 組合**)  
乗合タクシー (月山号等)



## 民間路線バスによる輸送人員と実車走行距離

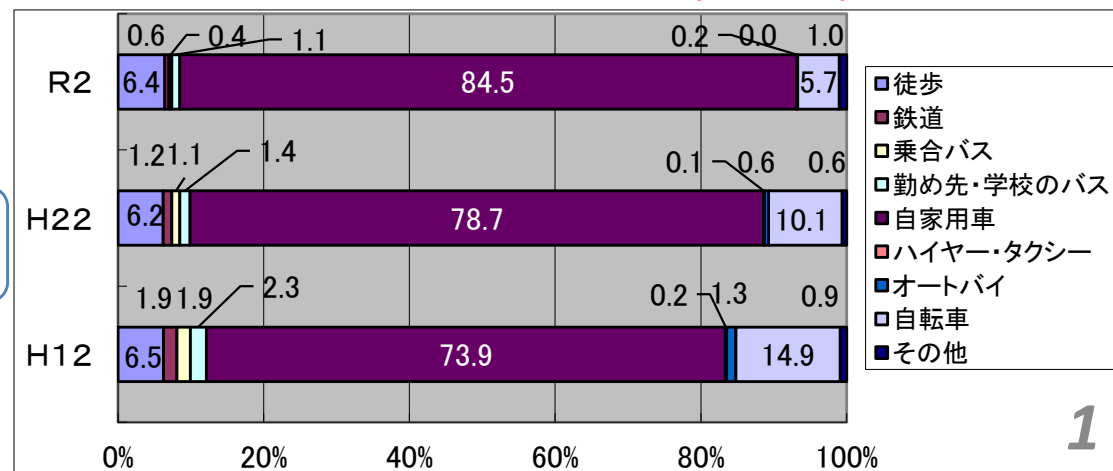
実車走行距離(千km)

輸送人員(千人)



## 利用交通手段の分担率 (国勢調査より)

「自家用車」への依存度が84.5%と5.8ポイント上昇(H22→R2)



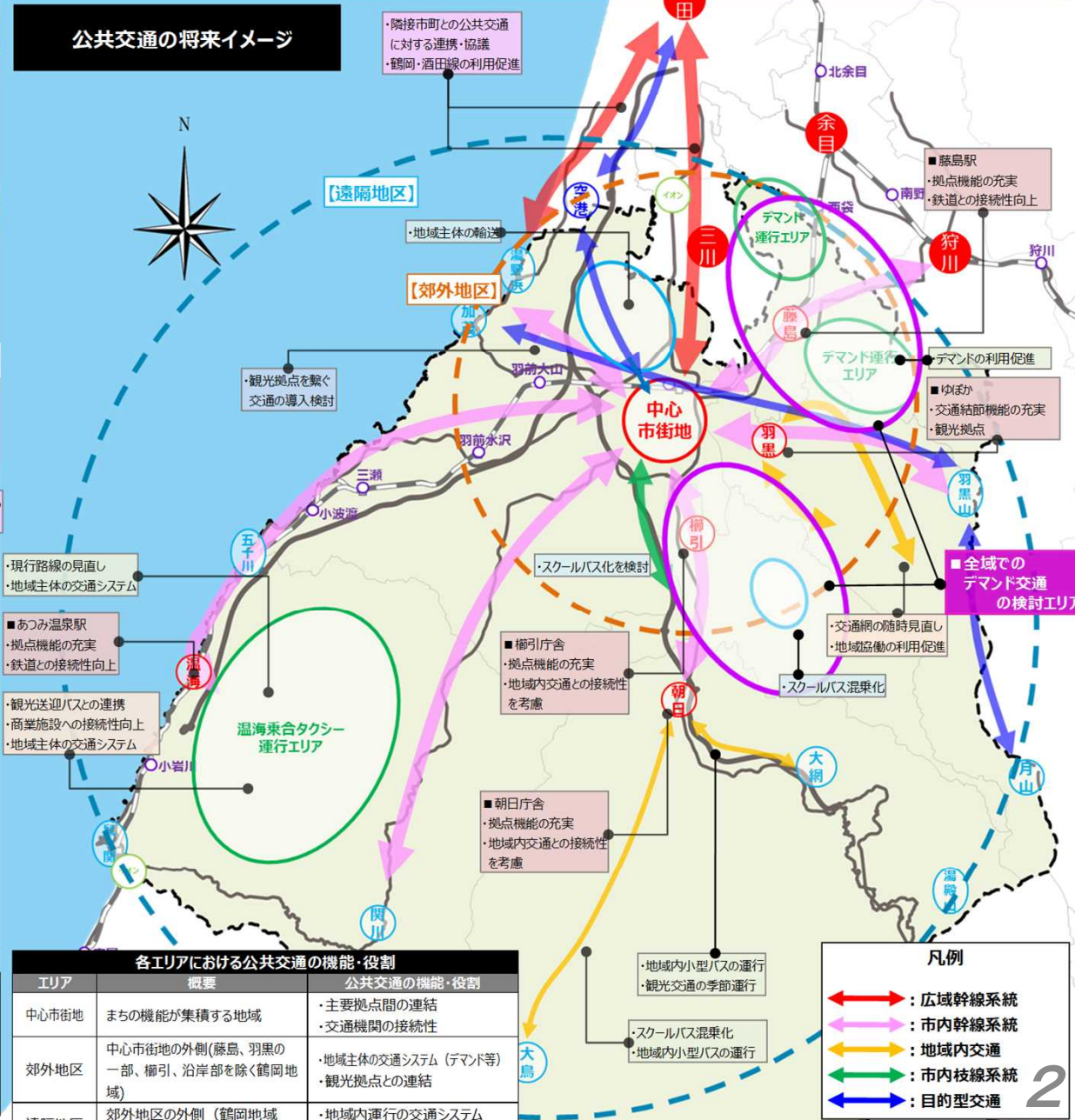
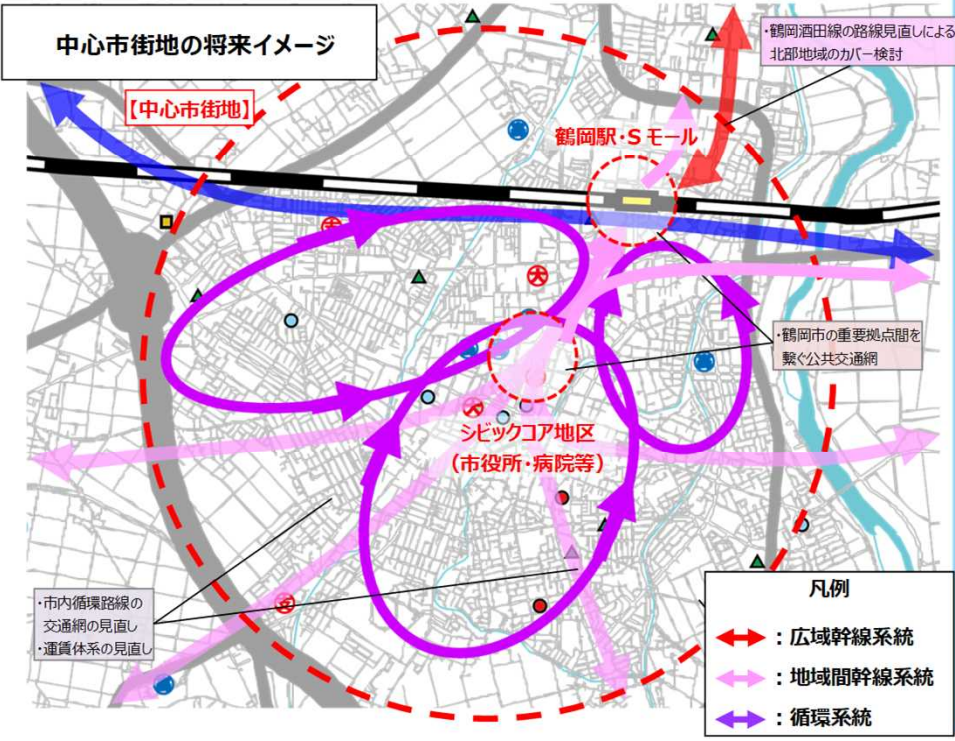
# 2. 鶴岡市地域公共交通計画(令和3~7年度)

## 1-1 公共交通ネットワークの将来イメージ

■ 本計画の基本方針 (目指す将来像) 誰もが幸福を実感できる暮らしを支え、市民とともに育む「持続可能な交通」の実現  
 ~住み続けられるまちを支える、交通ネットワークの構築~

- 基本目標 1 : 地域の骨格を形成する「持続可能な」公共交通ネットワークの構築**
- 基本目標 2 : 「まちづくり」と連携した賑わいを創出する公共交通体系の構築**
- 基本目標 3 : 市民・来訪者の「交流」を支える広域移動・市内拠点間移動における利便性確保**
- 基本目標 4 : みんなでつくり、支え、「協働」して育む公共交通**
- 基本目標 5 : 「だれもが利用しやすい」公共交通環境の構築**

- 1. 交流活性化プロジェクト**
  - 施策 1-1 : 既存路線ネットワークの再編
  - 施策 1-2 : 新たな公共交通システムの導入
  - 施策 1-3 : 輸送資源を総動員した再編
  - 施策 1-4 : 交通結節拠点の設置
  - 施策 1-5 : 運賃等の料金制度の見直し
- 2. 市民協働プロジェクト**
  - 施策 2-1 : 地域と共に創り上げる交通サービスの導入
  - 施策 2-2 : 多くの機関と協働したサービス展開
  - 施策 2-3 : 公共交通について議論する場の創出
- 3. 環境改善・利用促進プロジェクト**
  - 施策 3-1 : 交通環境の改善
  - 施策 3-2 : 交通案内の改善・充実
  - 施策 3-3 : 公共交通に対する市民意識の醸成



各エリアにおける公共交通の機能・役割		
エリア	概要	公共交通の機能・役割
中心市街地	まちの機能が集積する地域	・主要拠点間の連結 ・交通機関の接続性
郊外地区	中心市街地の外側(藤島、羽黒の一部、榎引、沿岸部を除く鶴岡地域)	・地域主体の交通システム(デマンド等) ・観光拠点との連結
遠隔地区	郊外地区の外側(鶴岡地域)	・地域内運行の交通システム

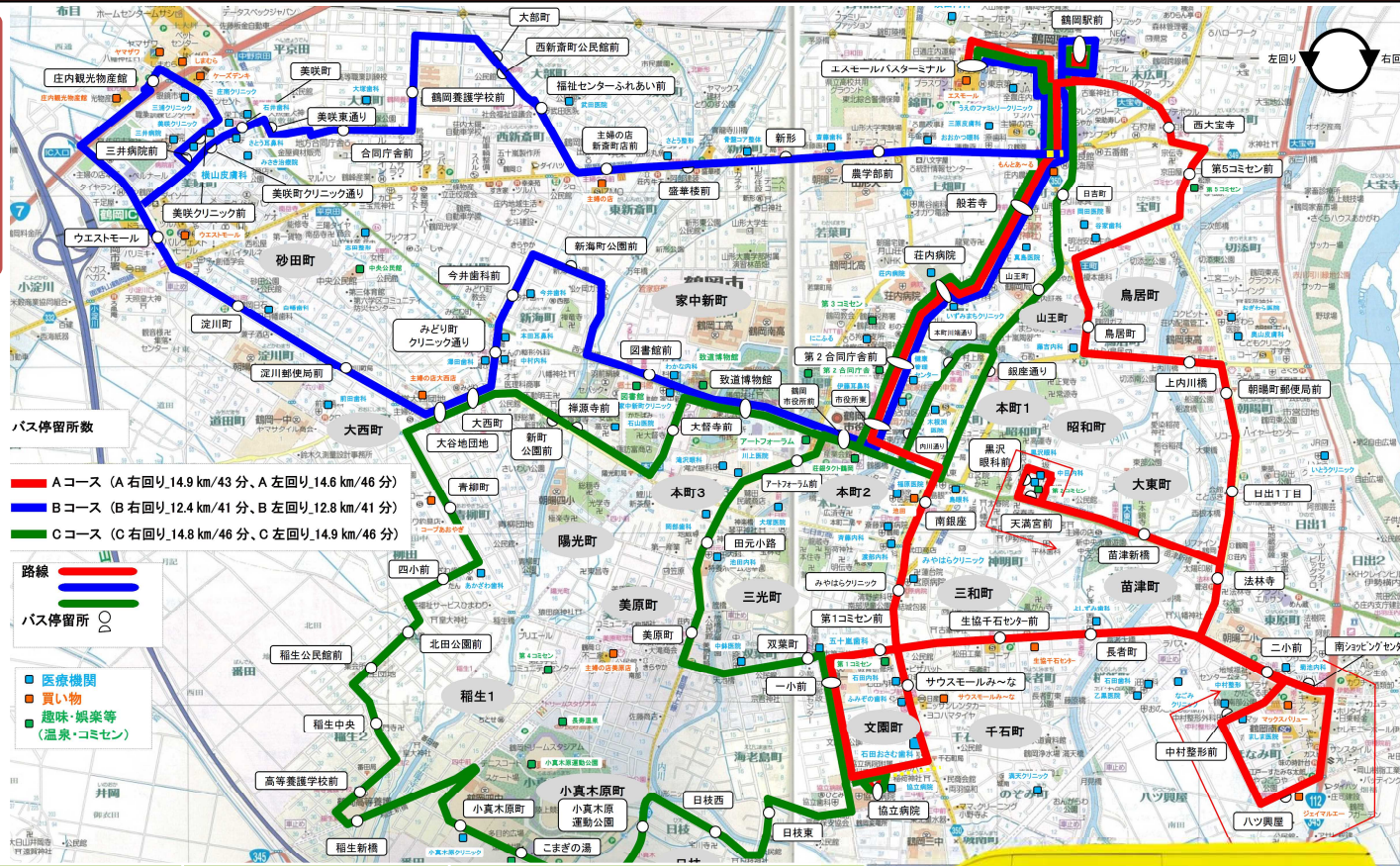
- 凡例**
- ↔ (赤) : 広域幹線系統
  - ↔ (紫) : 地域間幹線系統
  - ↔ (黄) : 地域内交通
  - ↔ (緑) : 市内枝線系統
  - ↔ (青) : 目的型交通

# 3. 庄内交通(株)市内循環線の再編

「利便性向上による利用者増加を図る」

という“逆転の発想”により、

令和4年10月に市内循環線の再編を実施



	再編前	再編後
運行便数	12便/日	48便/日
バス停数	58ヶ所	79ヶ所 (約300mに1カ所)
路線数	2系統4路線	3系統6路線
運行日	月～金曜日	毎日 (年末年始除く)
運賃	200～420円	一律300円



12人乗り車両を導入することで、今まで通過できなかった地域も運行可能に。

## 鶴岡市の役割

### 素案の作成まで

- ▶ 鶴岡市地域公共交通計画策定時のアンケートにて、路線バスに関する意見を聴取
- ▶ 令和3年3月策定の鶴岡市地域公共交通計画に市街地の交通手段の将来像として明記

### 運行経路決定にあたり

- ▶ 市役所内で部局を横断し、運行ルート決定のための情報を収集

#### ◎福祉担当部門

- ・ 高齢者のみの世帯が多い地区をリストアップ
- ・ 民生児童委員等への市内循環バスの情報発信と庄内交通株式会社が実施するバスの乗り方教室の実施希望団体の募集。

#### ◎土木担当部局

- ・ 運行ルートの検討材料となるバス停の設置や除雪・積雪に関する情報の提供

#### ◎商工観光部局

- ・ 買物動向や観光移動の実態に関する情報提供、観光のモデルコースの検討。

### 運行開始後

- ▶ 市広報等での情報周知を実施

その他、利便性向上のため、

- ・ 高齢者のみの世帯が多い地域を通過するように路線を設定
- ・ 毎時〇分発のように、わかりやすいダイヤを設定

運転免許自主返納者を含む高齢者等の通院や買物など市民の日常生活の移動手段を確保し、心身の健康と社会参加を増進するとともに、公共交通の利用拡大に資する。

## 高齢者等外出支援事業 「ゴールドパス」および「免許返納者定期券」

これまで地域限定で実施していた「高齢者いきいきパス」を拡充し、平成30年4月1日から全市を対象に実施。

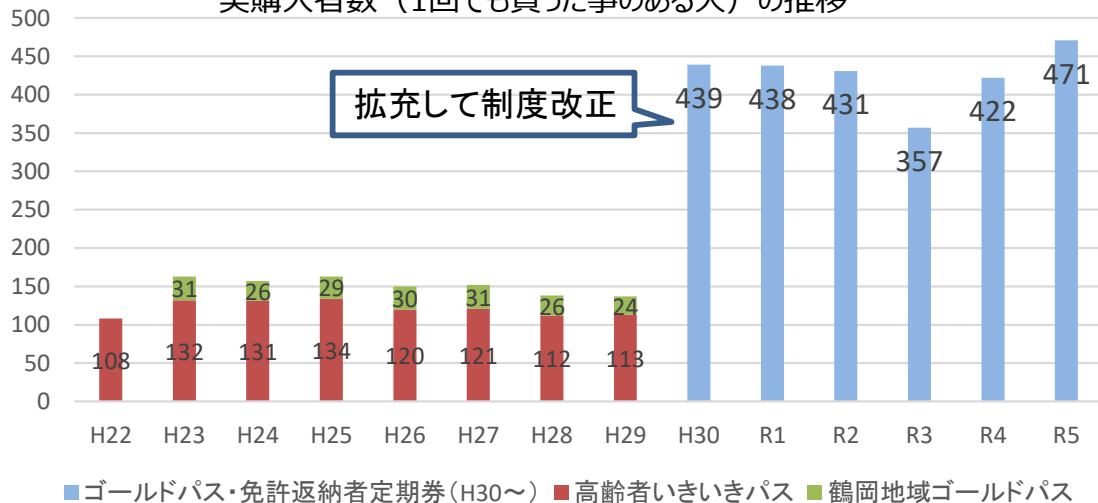
鶴岡市に住民登録がある「70歳以上の方」と「運転免許証を自主返納した方」を対象に、庄内交通(株)の路線バス定期券（庄内交通の路線バス運行区間のどこでも使用可※一部除く）を購入する際に、通常料金よりも安く購入できる市が補助。



※令和元年10月から定期券販売価格と自己負担額を改正

券種	通常料金	自己負担額
1か月券	10,370円	2,550円
3か月券	28,000円	7,650円
6か月券	56,000円	15,300円
12か月券	112,000円	30,600円

実購入者数（1回でも買った事のある人）の推移



## 運転免許返納者支援

	R03		R04		R05	
申請者数	503人		423人		384人	
内訳	バス	タクシー	バス	タクシー	バス	タクシー
	50人	453人	76人	347人	75人	309人

### タクシークーポン券の回収率

年月	配布枚数	回収枚数	回収率
令和3年度	4,530枚	3,146枚	69.5%
令和4年度	3,470枚	2,866枚	82.6%
令和5年度	3,090枚	2,295枚	74.3%
計	11,090枚	8,307枚	74.9%

※ 前年度以前のクーポン券も使用可

## 運転免許の自主返納を支援します

「タクシー乗車券」・「バス乗車カード」・「バス回数券」を交付します。【どれか一つ・1回限り】

### ○タクシー乗車券

⑤500×10枚 ※お釣り出ます  
※山形県ハイヤー協会鶴岡支部に加入しているタクシー会社のみ利用可能です。



### ○庄内交通(株) チェリカ

総額：5,000円  
内訳④4,500円分の電子マネー  
(バス運賃に使用できます。)  
○ 500円：カード保証料(デポジット)



### ○鶴岡市市営バス回数券

⑤100円×55枚 ※お釣り出ません

※市営バス回数券に有効期限はありません。

【対象】 運転免許を自主返納された方かつ公安委員会が交付する「申請による運転免許の取消通知書」に記載された取消日から起算して1年以内に手続きした方。

【窓口】 鶴岡市役所6階 防災安全課

【時間】 8時30分～17時15分まで(※土、日、祝日を除く)

【持参する物】 「申請による運転免許の取消通知書」と穴の開いた運転免許証を持参ください。

【概要】 窓口にて「運転免許自主返納支援事業交付申請書」を記入し、タクシー乗車券・チェリカカード・バス回数券のうち、いずれか1種類を5千円分交付します。

## 制度の趣旨

公共交通の定期券費用を支援し、高等学校等生徒の通学費負担の平準化を図るとともに、過疎地域での子育て支援や定住促進を目的とし、併せて、減少傾向が続くバス路線等公共交通機関の利用拡大を目指す。

朝日地域及び温海地域では令和元年度から実施



令和6年度から対象地域を  
**全市に拡大**



## 事業の概要

### ①定期券費用の補助

自宅から高等学校等まで公共交通機関（バス又はJR）の定期券を購入し通学している生徒の保護者等を対象に、月額5,000円（年額60,000円）を自己負担額上限として、それを超えた通学費を補助する。

### ②自家用車送迎費用の補助

①に該当する場合、自宅から最寄りのJR駅またはバス停留所までの距離が、片道2km以上あるとき、距離に応じて自家用車送迎に要する経費の一部を補助する。

2km以上5km未満：月額3,000円、5km以上8km未満：月額6,000円  
8km以上：月額9,000円

## 補助のイメージ

### 【朝日地域の通学例】

新落合～内川通り 年額133,200円  
バス定期券（キャンパスパスポート1年）

自己負担額＝60,000円  
市補助金＝73,200円

### 【温海地域の通学例】

あつみ温泉駅～鶴岡駅年額82,920円  
JR定期券（旅客通学定期6ヶ月×2期）

自己負担額＝60,000円  
市補助金＝22,920円

## 令和5年度実績

地域	人数	金額
朝日地域	12名	935,600円
温海地域	62名	3,187,578円
計	74名	4,123,178円